

設問の意図把握する力を

勉強しようと思えば机に向かって、何から始めたらいいのかわからない。そんな受験生も多いのではないだろうか。「播磨の高校入試」の最終回は、中・西播磨地域に学習塾14教室を展開するジェイ教育セミナー（本部事務局・姫路市）の教室統括部長林秀和さんに、2学期からの受験勉強のこつや志望校選びについて教えてもらいました。

林秀和さんに聞く



中3生に向け受験のアドバイスをするジェイ教育セミナーの林秀和さん
姫路市東延末

「3年の2学期で学ぶ社会や理科、数学などの新しい分野は入試に頻出します。これまでの復習や苦手分野の克服にも並行して取り組まないといけません。公立高校入試の合否判定には副教科の成績も反映されるので、5教科以外の授業もおろそかにはできません」

「志望校選びのこつは。高い目標を持つことです。そこに向かって勉強すれば選択肢が増えます。学区再編の影響で上位校の姫路西や姫路東、龍野などの次に来る中堅校の倍率が高くなる傾向にあります。受験倍率も毎年バラバラで予想は困難ですが、じっくり考えてください」

「家庭学習の仕方は。部活動を引退し、受験勉強

ジェイ教育セミナー教室統括部長

「3年の2学期で学ぶ社会や理科、数学などの新しい分野は入試に頻出します。これまでの復習や苦手分野の克服にも並行して取り組まないといけません。公立高校入試の合否判定には副教科の成績も反映されるので、5教科以外の授業もおろそかにはできません」

「一般入試の対策は。部活動を引退し、受験勉強

「今春の一般入試を分析すると、苦手と得意の生徒が分かれる英語は点差がつきやすい。数学と国語は80点以上の生徒が少なく、高得点を取りにくかったようです。どの教科も問題文や設問の分量が増えています。的確に問題文を読み、設問の意図を把握する国語力が必要です」

「最後に、復習はどうやってすればいいですか。復習がおろそかになっていない受験生が多いです。学校のテストや問題集で間違えた問題を解き直すだけで力が付きます。2学期にしっかり力をつけて、2、3月の本番に挑みましょう」